No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
1	CT_第三者認証	変更	CT-1	情報セキュリティまたは個人情報保護について取得している第三者による認証や評価をすべて選択してください。	□ISO/IEC 27001 ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） ・範囲（フリーテキスト） □ISO/IEC 27017 ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） ・範囲（フリーテキスト） □プライバシーマーク ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） □ SOC2(Type1) ・取得年月（YYMM） ・評価日（YYMM） ・取得範囲（フリーテキスト） □ SOC2(Type2) ・取得年月（YYMM） ・~~評価日~~（フリーテキスト） ・取得範囲（フリーテキスト） □ISMAP □ISMAP-LIU □その他(詳細) 〇該当なし 〇非公開	CT-1	（変更なし）	□ISO/IEC 27001 ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） ・範囲（フリーテキスト） □ISO/IEC 27017 ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） ・範囲（フリーテキスト） □プライバシーマーク ・登録番号（フリーテキスト） ・有効期限（YYMM） □ SOC2(Type1) ・取得年月（YYMM） ・評価日（YYMM） ・取得範囲（フリーテキスト） □ SOC2(Type2) ・取得年月（YYMM） ・評価期間（フリーテキスト） ・取得範囲（フリーテキスト） □ISMAP □ISMAP-LIU □その他(詳細) 〇該当なし 〇非公開	FALSE
2	LG_法律	変更	LG-2	個人情報保護に関して対応しているものをすべて選択してください。	□個人情報保護法 □カリフォルニア州法（CCPA） □EU一般データ保護規則（GDPR） □その他 ・詳細を記載してください 〇該当なし 〇非公開	LG-2	（変更なし）	□個人情報保護法 □カリフォルニア州法（CCPA/CPRA） □EU一般データ保護規則（GDPR） □その他 ・詳細を記載してください 〇該当なし 〇非公開	FALSE
3	SL_サービスレベル	変更	SL-1	サービスレベルや責任範囲について実施していることをすべて選択してください。	□稼働目標を定めている ・稼働目標や計算方法を記載してください □稼働実績を開示している ・稼働実績の確認方法や計算方法を記載してください □目標復旧時間（RTO）を定めている ・目標復旧時間を記載してください □サービス提供者の責任範囲を定めている ・詳細を記載してください □サービス利用者と~~サービス提供者~~間のコミュニケーション（連絡や報告）のルールや体制を定めている ・詳細を記載してください □損害賠償について、責任の範囲や金額の上限を定めている ・詳細を記載してください 〇該当なし 〇非公開	SL-1	（変更なし）	□稼働目標を定めている ・稼働目標や計算方法を記載してください □稼働実績を開示している ・稼働実績の確認方法や計算方法を記載してください □目標復旧時間（RTO）を定めている ・目標復旧時間を記載してください □クラウドサービス事業者の責任範囲を定めている ・詳細を記載してください □サービス利用者とクラウドサービス事業者間のコミュニケーション（連絡や報告）のルールや体制を定めている ・詳細を記載してください □損害賠償について、責任の範囲や金額の上限を定めている ・詳細を記載してください 〇該当なし 〇非公開	FALSE
4	DT_データ利用	変更	DT-1	預託データについて、定めていることをすべて選択してください。	~~□~~秘密情報~~の定義~~ ~~□~~第三者への開示の禁止 ~~□~~目的外利用の禁止 □その他 ・詳細を記載してください 〇~~該当なし~~ 〇非公開	DT-2	預託データについて、利用規約などで定めていることをすべて選択してください。	□データの機密性確保 ■秘密・機密情報としての取り扱い ■第三者への開示の禁止 ■漏えい等発生時にクラウドサービス利用企業へ即時に通知 □データ利用目的の規定 ■サービス提供・保守・障害調査等 ■サービスの改善・向上 ■研究・開発 ■ニュースレターなどの情報提供（サービスの提供に係るもの以外） ■目的外利用の禁止 ■その他の目的（詳細） □預託データに関する権利のクラウドサービス利用企業への帰属 □その他 ・詳細を記載してください 〇利用規約などに上記のような定めはない 〇非公開	TRUE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
5	DT_データ利用	変更	DT-2	クラウドサービスで取得している情報をすべて選択してください。	~~□~~氏名 ~~□~~メールアドレス ~~□~~要配慮個人情報 ~~□~~マイナンバー □クレジットカード情報 ~~□~~Cookie ~~□~~位置情報 □その他 ・詳細を記載してください ○~~該当なし~~ ○非公開	DT-1	クラウドサービスで取得する情報（預託データ）をすべて選択してください。 [設問補足] サービス上で取得・取り扱う情報のうち、法規制や業界基準などにより慎重な取り扱いが必要となる情報に関する設問です。例えば、アカウント発行のために利用する氏名やメールアドレスは個人情報として回答対象になります。一方、サービスで取得、取り扱わない次のような情報は対象外になります。例：契約のために書面で取得した担当者の氏名。なお、個人情報についてはGDPR上のControllerとして取得する場合だけでなく、Processorとしての取得も対象となります。	□個人を識別可能な情報 ■氏名やメールアドレス ■要配慮個人情報 ■マイナンバー ■その他 ・詳細を記載してください □個人関連情報 ■Cookie(クラウドサービスの提供にあたり必須のCookieを除く) ■位置情報 ■その他 ・詳細を記載してください □クレジットカード情報 □その他 (詳細) ○サービスを通じての情報取得はない ○非公開	TRUE
6	DT_データ利用	削除	DT-3	サービス利用者の個人情報に関する第三者提供について、該当するものをすべて選択してください。	○個人情報を匿名化せず第三者提供している ・対象となるデータおよび提供目的を記載してください ○個人情報を匿名化し第三者提供している (対象となるデータおよび提供目的) ・対象となるデータおよび提供目的を記載してください ○個人情報を第三者提供していない	—	—	—	FALSE
7	DT_データ利用	削除	DT-4	サービス利用者の個人情報をサービス提供以外の目的で利用していますか。該当するものをすべて選択してください。	○個人情報を匿名化せず自社で利用している ・対象となるデータおよび利用目的を記載してください ○個人情報を匿名化し自社で利用している ・対象となるデータおよび利用目的を記載してください ○利用していない	—	—	—	FALSE
8	DT_データ利用	削除	DT-5	預託データを第三者提供していますか。	○はい ・対象となるデータおよび提供目的を記載してください ○いいえ	—	—	—	FALSE
9	DT_データ利用	削除	DT-6	預託データをサービス提供以外の目的で利用していますか。	○はい ・対象となるデータおよび利用目的を記載してください ○いいえ	—	—	—	FALSE
10	DT_データ利用	削除	DT-7	預託データの利用にあたり、契約や規約等にて利用目的として定めていることをすべて選択してください。	○サービスの提供 ○その他 ・詳細を記載してください ○該当なし ○非公開	—	—	—	FALSE
11	DT_データ利用	変更	DT-8	Cookieや位置情報、IPアドレス等のオンライン識別子の利用~~に~~ついて、対応していることをすべて選択してください。	□事前に同意を得ている □利用停止の方法を明記している □利用するCookieを明記している ○未実施 ~~○オンライン識別子の利用なし~~ ○非公開	DT-10	Cookie(クラウドサービスの提供にあたり必須のCookieを除く)や位置情報、IPアドレス等のオンライン識別子を取得する場合、利用規約などで対応していることをすべて選択してください。	□事前に同意を得ている □利用停止の方法を明記している □利用するCookieを明記している ○未実施 ○非公開	TRUE
12	DT_データ利用	削除	DT-9	外部委託先が預託データを取り扱うことはありますか。	○はい ○いいえ ○非公開	—	—	—	FALSE
13	DT_データ利用	削除	DT-10	外部サービスの利用や外部委託等により預託データが他国に保管されることはありますか。	○はい ・国や地域を記載してください ○いいえ ○非公開	—	—	—	FALSE
14	DT_データ利用	変更	DT-11	預託データが他国からアクセスされることはありますか（外部サービスの利用や外部委託等によるアクセスを含~~む~~。利用者によるアクセスは含みません）。	○はい ・国や地域を記載してください ○いいえ ○非公開	LO-2	預託データが日本国外の主体からアクセスされることはありますか。 [設問補足] 外部サービスの利用や外部委託等によるアクセスを含みます。利用者によるアクセスは含みません。	○はい ・アクセス元の所在国や地域を記載してください ・アクセス元との関係や、アクセスの理由を記載してください ○いいえ ○非公開	TRUE
15	DT_データ利用	削除	DT-12	日本国外に所在する第三者に対して委託のため個人情報を提供する場合、当該第三者との間で合意していることをすべて選択してください。	□利用目的の特定 □目的外利用の禁止 □違法または不当な行為につながる恐れがある方法による利用の禁止 □第三者提供の禁止 □利用する必要のなくなった個人情報の消去 □安全管理措置の実施 □従業員の監督 □さらに他の第三者へ委託する場合の当該委託先の監督 □漏えい等の事案が発生した場合の通知 □さらに他の第三者へ提供する場合における各措置の実施の確保 ○合意していない ○日本国外へ提供していない ○非公開	—	—	—	FALSE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
16	DT_データ利用	削除	DT-13	外部委託先や外部サービスに個人情報が委託されることはありますか。委託がある場合は委託先を公開していますか。	○個人情報の委託があり委託先を公開している ○個人情報の委託があるが委託先は公開していない ○個人情報の委託はない ○非公開	—	—	—	FALSE
17	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-3	クラウドサービスで個人を識別可能な情報を含む情報（個人データ）を取得する場合、その本人（データ主体）として当てはまる主体をすべて選択してください。	□クラウドサービス利用企業の従業員 □クラウドサービス利用企業から見た外部の個人（取引先や採用候補者など） □その他 ・詳細を記載してください ○非公開	TRUE
18	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-4	個人データを取得する場合、取り扱いの有無について選択してください。 [設問補足]ここで取り扱わないとは、契約条項によってデータを取り扱わない旨を定めていて、かつ適切にデータへのアクセスを制御していることを指します。	○取り扱う ○取り扱わない ○その他 ○非公開	TRUE
19	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-5	個人データを取り扱う場合、その方法は以下のいずれに当たりますか。当てはまるものを全て選択してください。	□社内利用 □第三者への移転（データの提供および、委託先等の社外の第三者によるデータへのアクセスを含む） □その他 ○非公開	TRUE
20	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-6	個人データを取り扱う場合に、当該データを法令上規制のある形で加工しますか。当てはまる加工方法を全て選択してください。	□匿名加工情報 □仮名加工情報 ○上記の形では加工せず取り扱う ○非公開	TRUE
21	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-7	個人データの第三者への移転がある場合、どのような枠組みでデータを受け渡しますか。当てはまるものを全て選択してください。	□処理の委託 □第三者提供 □その他 ○非公開	TRUE
22	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-8	個人データの処理を第三者に委託する場合、関連法令の要求に従い、適切に委託先の監督を実施していますか。	○はい ○いいえ ○非公開	TRUE
23	DT_データ利用	新規	—	—	—	DT-9	個人データを第三者提供する場合、本人の同意を取得するなど、適切な手続を確認して提供していますか。	○はい ○いいえ ○非公開	TRUE
24	LO_データの所在地	変更	LO-1	~~サービス提供のため利用している~~データセンターのリージョン~~やエリア~~をすべて選択してください~~（~~バックアップ用途を含む~~）~~。 [設問補足] ~~保守運用で用いるSaaS等に関するリージョンやエリアは除く~~	□日本 □~~US~~ ・州名を記載してください □~~EU~~ ・詳細を記載してください □中国 □その他 ・詳細を記載してください ○非公開	LO-1	データセンターやIaaSのリージョンなど、預託データを保管するために利用する施設の所在地をすべて選択してください。 [設問補足] バックアップ等の用途で用いられるサーバーの所在地を含みます。ユーザーのデータを保管しない社内サーバー等の所在地は除きます。	□日本 □アメリカ合衆国 ・州名を記載してください □欧州連合（EU）および英国 ・国名を記載していください □中華人民共和国 □その他 ・詳細を記載してください ○非公開	FALSE
25	LO_データの所在地	新規	—	—	—	LO-3	個人データなど、法規制のかかるデータを日本国外に保管するか、または日本国外の主体がデータにアクセスする場合、法的な根拠を確認・評価して実施していますか。	○ケースに応じ、適切な法的根拠を確認して実施している ○確認せずに実施している ○対象となるデータや運用はない ○非公開	TRUE
26	OR_情報セキュリティ確保のための組織体制	変更	OR-1	~~情報~~セキュリティの維持や向上、監督、~~それら~~活動全般を統制する~~管理上の~~枠組みを~~確立するために~~実施していることをすべて選択してください。	□~~情報~~セキュリティ管理の責任者を定め、職務範囲や権限、責任について定めている □~~情報~~セキュリティ管理に関する関係部署や業務、機能を明らかにしている □~~情報~~セキュリティ体制について、通常時だけでなく有事を想定した役割や責任を定めている □~~自社で対応する箇所、外部に委託する箇所を適切に切り分け、役割と責任を~~明確にしている ○該当なし ○非公開	OR-1	クラウドサービスのセキュリティの維持や向上、監督などの活動全般を統制する枠組みとして実施していることをすべて選択してください。	□セキュリティ管理の責任者を定め、職務範囲や権限、責任について定めている □セキュリティ管理に関する関係部署や業務、機能を明らかにしている □セキュリティ体制について、通常時だけでなく有事を想定した役割や責任を定めている □自社の責任範囲と外部委託先との責任範囲を明確にしている ○該当なし ○非公開	FALSE
27	OR_情報セキュリティ確保のための組織体制	変更	OR-2	~~承認されていないもしくは意図しない変更や不正利用のリスクを低減するため、組織の役割と責任に応じて情報資産へのアクセスや閲覧、修正等の権限を分離していますか。~~	~~□分離していて、定期的に見直ししている~~ ~~□分離しているものの、定期的に見直ししていない~~ ~~□分離していない~~ ○非公開	OR-2	クラウドサービスのセキュリティリスク管理として実施していることをすべて選択してください。	□セキュリティリスクへの対応計画を策定している □経営層が対応計画を承認している □経営層に対応進捗・結果などが報告されている □定期的なセキュリティリスク評価を行っている ○実施していない ○非公開	TRUE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
28	EM_従業員に対するセキュリティ対策	変更	EM-1	従業員に対するセキュリティ対策として実施していることをすべて選択してください。	□情報セキュリティおよび重要情報の取扱いに関する意識向上のため、定期的に教育を実施している ・頻度 ・最終実施年月 ・~~内容~~ □セキュリティインシデントを想定した演習や訓練を実施している(頻度や最終実施時期、内容) ・頻度 ・最終実施年月 ・内容 〇未実施 〇非公開	EM-1	（変更なし）	□セキュリティおよび重要情報の取り扱いに関する意識向上のため、定期的に教育を実施している ・頻度 ・最終実施年月 ・テーマやトピック □セキュリティインシデントを想定した演習や訓練を実施している ・頻度 ・最終実施年月 ・内容 〇未実施 〇非公開	FALSE
29	EM_従業員に対するセキュリティ対策	変更	EM-2	従業員および契約相手と秘密保持に関する契約を締結をしていますか。	〇はい 〇いいえ 〇非公開	EM-2	従業員および委託先・派遣契約元などの契約相手と秘密保持に関する契約や誓約書を締結をしていますか。	（変更なし）	FALSE
30	AS_情報資産管理	変更	AS-3	サービス利用終了時またはサービス利用者からの指示があった場合、預託データやサービス利用者が作成したデータを返却したり削除できますか。可能なものをすべて選択してください。	□返却・ダウンロード ・データ形式や受渡方法（自由入力） □利用終了~~後に自動~~削除 ・削除までの時間 □ユーザー要望を受けた場合に削除 ・削除までの時間 □削除証明書の発行が可能 □返却・削除ができず残存するデータがある ・データの内容（自由入力） 〇非公開	AS-3	サービス利用終了時またはサービス利用者からの指示があった場合、預託データやサービス利用者が作成したデータを返却したり削除できますか。可能なものをすべて選択してください。 [補足] 対象となるデータにはバックアップデータなども含めてご回答ください	□返却・ダウンロード ・データ形式や受渡方法（自由入力） □利用終了時に削除 ・削除までの時間 □サービス利用者の要望を受けた場合に削除 ・削除までの時間 □削除証明書の発行が可能 □返却・削除ができず残存するデータがある ・データの内容（自由入力） 〇非公開	FALSE
31	AS_情報資産管理	変更	AS-10	他のユーザーとデータが混在しないようにしていますか	〇分離している ■サーバ筐体やIaaS/テナントレベルでの分離 ■データベーステーブルやスキーマレベルでの分離 ■アプリケーションレイヤでの論理的分離 ■その他（自由記述） 〇未実施 〇非公開	AS-10	（変更なし）	〇分離している ■サーバー筐体やIaaS/テナントレベルでの分離 ■データベーステーブルやスキーマレベルでの分離 ■アプリケーションレイヤでの論理的分離 ■その他（自由記述） 〇未実施 〇非公開	FALSE
32	AC_アクセス制御	変更	AC-7	クラウドサービスのコンポーネントにおいて、管理者権限や特権的ユーティリティのアクセス制限として実施していることをすべて選択してください。	~~□管理者権限での~~ログイン~~およびクラウドサービスへのアクセスは必要な場合のみ実施している~~ ~~□Web~~サーバやアプリケーションサーバのプロセスを管理者権限以外で起動している □サービスやデーモン、プロトコルは必要なもののみ設定および起動をしており、不要なものは起動できないようにしている 〇該当なし 〇非公開	AC-7	クラウドサービスのコンポーネントにおいて、管理者権限を保持する特権的ユーティリティおよびサービスアカウントのアクセス制限・権限管理として実施していることをすべて選択してください。	□用途以上に必要な権限を付与していない（ウェブサーバーやアプリケーションサーバーのプロセスを管理者権限以外で起動しているなど） □サービスやデーモン、プロトコルは必要なもののみ設定および起動をしており、不要なものは起動できないようにしている □ログインが必要なサービスアカウントについて十分な認証を行い、ログインが不要なサービスアカウントについては技術的にログイン不可としている [補足] デフォルトパスワードの利用などは十分な認証とは言えません。 〇該当なし 〇非公開	TRUE
33	AC_アクセス制御	変更	AC-10	クラウドサービスの開発、保守および運用において、~~不要または一定期間使用していないアカウントを無効化あるいは削除していますか。~~	~~□手続きを文書化している~~ ~~□定期的に文書の内容を見直している~~ □~~都度~~無効化・削除している □棚卸している ・実施頻度 ●月次 ●四半期 ●半期 ●年次 ●不定期 〇未実施 〇非公開	AC-10	クラウドサービスの開発、保守および運用において使われるアカウントについて対処していることを選択してください。	□すべてのアカウントを把握している、もしくは把握可能となっている □不要となった際に無効化・削除している □棚卸している ・実施頻度 ●月次 ●四半期 ●半期 ●年次 ●不定期 〇未実施 〇非公開	TRUE
34	AC_アクセス制御	新規	ー	ー	ー	AC-14	クラウドサービス利用者がサービスを利用する際の認証機能について、該当するものを選択してください。	□サービス自身が認証機能を提供している □外部IDプロバイダーとの認証連携機能（SSOなど）を提供している ・認証連携に利用可能なプロトコル 〇その他 ・詳細を記載してください 〇ログインが不要など、ユーザーの認証が不要 ・認証機能が不要な理由 〇非公開	TRUE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
35	AC_アクセス制御	新規	―	―	―	AC-15	クラウドサービス利用者がサービスを利用する際の認証機能のうち、サービス自身が提供している機能について該当するものを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。なお、一般、管理者アカウント間で設定が異なるなど、複数の仕様がある場合は補足に詳細を記載してください。	○多要素認証が適用されている ■パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ■パスワード＋ユーザー個別の証明書 ■パスワード＋セキュリティキー ■パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ■その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○パスワード以外の単一要素認証で認証されている ・認証方法を記載してください ○パスワードでのみ認証されている ○非公開	TRUE
36	AC_アクセス制御	変更	AC-14	サービス利用者~~のアカウント~~について、実施していることおよび実施可能なことをすべて選択してください。	□~~ID は各個人に~~発行~~し、利用者を特定できる仕様としている~~ □パスワード~~認証~~ ■パスワードに最小の文字数を設定している ・最小文字数を記載してください ■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■脆弱なパスワードを制御する機能がある ・制御機能の詳細を記載してください ■パスワードは利用者自身が登録する~~仕様となっている~~ ■~~パスワード~~の再発行~~を行う際は~~本人しか知りえない情報~~等~~で本人確認~~を~~している~~ ■~~その他のパスワードポリシー~~ ・~~詳細を記載してください~~ □~~ワンタイムパスワード認証~~ ・~~スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください~~ □~~ユーザーごとの証明書による認証~~ ■~~ICカード~~ ■~~利用者端末への個別配布~~ □~~生体認証~~ ・~~詳細を記載してください~~ □~~その他の認証方法~~ ・~~詳細を記載してください~~ □指定回数続けて認証に失敗したアカウント~~は~~ロック~~または一定期間認証を不可としている~~ ・~~回数を記載してください~~ □~~セッションの有効期限を設けている~~ ・~~有効期限を記載してください~~ □リスクベース認証~~を用いることができる~~ ・~~具体的な認証方法を記載してください~~ □~~ネットワーク経路や端末による接続制限ができる~~ ■~~IPアドレス~~ ■~~複数のユーザーで共有されるクライアント証明書~~ □~~IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を用いることができる~~ ・~~利用可能なSSOプロトコルを記載してください~~ □管理者権限アカウントと一般アカウントで異なる認証ポリシーを設定できる ・詳細を記載してください ○未実施 ・詳細を記載してください ○非公開	AC-16	サービス自身が提供しているクラウドサービス利用者の認証機能について、該当するものをすべて選択してください。	□パスワードを利用する場合に安全性を確保する機能がある ■パスワードの最小文字数を設定している ・最小の文字数 ■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である ■脆弱なパスワードを制御する機能がある ・詳細 ■パスワードは利用者自身が登録する ■パスワードはソルト付きハッシュで保管される □リスクベース認証が導入されている ・リスクベース認証として実施していること □管理者権限アカウントと一般アカウントで異なる認証ポリシーを設定できる ・詳細を記載してください □複数回認証に失敗した場合はアカウントをロックする ・回数 □認証情報の再発行時に本人確認をする □その他 ・詳細を記載してください ○該当無し ○非公開	TRUE
37	AC_アクセス制御	新規	―	―	―	AC-17	クラウドサービス利用者のアクセス制御について、実施可能な機能をすべて選択してください。	□アカウントはユーザー毎に発行可能 □IPアドレスによるアクセス制限 □利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 □アプリケーションのセッションタイムアウト □その他 ・詳細を記載してください ○該当無し ○非公開	TRUE
38	AC_アクセス制御	変更	AC-15	サービス事業者（貴社）が利用するサービス運営のための機能や管理画面等がありますか。	○はい ○いいえ ○非公開	AC-18	クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のための機能や管理画面などがありますか。	（変更なし）	FALSE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
39	AC_アクセス制御	新規	ー	ー	ー	AC-19	クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のためのアカウントについて、SSOログイン認証を含めて、認証として該当するものを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。	○管理画面や管理ツールのすべてのユーザーアカウントに対して多要素認証が適用されている ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○管理画面や管理ツールのユーザーアカウントの一部に多要素認証が適用されている ・多要素認証が適用されているアカウントの範囲 ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○管理画面やツールを利用する全てのユーザーアカウントが単一認証で認証されている ・該当する認証要素を選択してください ●パスワード ●その他の単一認証 ・認証方法を記載してください ○未実施 ・詳細を記載してください ○非公開	TRUE
40	AC_アクセス制御	変更	AC-16	サービス事業者~~（貴社）従業員が~~利用するサービス運営のためのアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	~~□パスワード認証~~ ■パスワードに最小~~の~~文字数を設定している ・最小文字数を記載してください ~~■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である~~ ~~■脆弱なパスワードを制御する機能がある~~ ~~・制御機能の詳細を記載してください~~ ~~■パスワードは利用者自身が登録する仕様となっている~~ ~~■パスワードの再発行を行う際は本人しか知りえない情報等で本人確認をしている~~ ~~■その他のパスワードポリシー~~ ~~・詳細を記載してください~~ ~~□ワンタイムパスワード認証~~ ~~・スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください~~ ~~□ユーザーごとの証明書による認証~~ ~~■ICカード~~ ~~■利用者端末への個別配布~~ ~~□生体認証~~ ~~・詳細を記載してください~~ □その他の認証方法 ・詳細を記載してください ~~□指定回数続けて認証に失敗したアカウントはロックまたは一定期間認証を不可としている~~ ~~・回数を記載してください~~ □セッション~~の有効期限を設けている~~ ~~・有効期限を記載してください~~ ~~□リスクベース認証を用いることができる~~ ~~・具体的な認証方法を記載してください~~ ~~□ネットワーク経路や端末による接続制限ができる~~ ■IPアドレス ~~■複数のユーザーで共有されるクライアント~~証明書 ~~□IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を実施している~~ ~~・利用可能なSSOプロトコルを記載してください~~ ○未実施 ~~・詳細を記載してください~~ ○非公開	AC-20	クラウドサービス事業者が利用するサービス運営のためのアカウントのアクセスについて、追加で制御していることをすべて選択してください。	□IPアドレスによるアクセス制限 □利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 □アプリケーションのセッションタイムアウト □パスワードを利用する場合に最小文字数を設定している ・パスワード長 □その他 ・詳細を記載してください ○該当なし ○非公開	TRUE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
41	AC_アクセス制御	新規	ー	ー	ー	AC-21	クラウドサービスの開発、保守および運用に携わる要員が利用するインフラやデータベース、IaaSなどのアカウントについて、SSOログイン認証を含めて実施していることを選択してください。 [設問補足] ここでワンタイムパスワード（nonce）は取得方法としてスマホアプリやメール、SMSを含みます。パスワード＋セキュリティキーの実装例にはFIDO U2F認証、パスキー認証にはFIDO2認証が含まれます。	○緊急用アカウントなどの例外を除き、適用可能なすべてのユーザーアカウントに対して多要素認証が適用されている ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○ユーザーアカウントの一部に多要素認証が適用されている ・多要素認証が適用されているアカウントの範囲 ・該当する認証要素の組み合わせを選択してください ●パスワード＋ワンタイムパスワード ・OTPの手段 ●パスワード＋ユーザー個別の証明書 ●パスワード＋セキュリティキー ●パスキー認証（多要素パスワードレス認証） ●その他の多要素認証 ・詳細を記載してください ○すべてのユーザーアカウントが単一認証で認証されている ・該当する認証要素を選択してください ●パスワード ●その他の単一認証 ・認証方法を記載してください ○未実施 ・詳細を記載してください ○非公開	TRUE
42	AC_アクセス制御	変更	AC-17	クラウドサービスの開発、保守および運用に~~おいて~~利用するインフラやデータベース、IaaS~~等~~のアカウントについて、実施していることをすべて選択してください。	~~□パスワード認証~~ ■パスワードに最小~~の~~文字数を設定している ・最小文字数を記載してください ~~■パスワードに英数字だけでなく記号も使用可能である~~ ~~■脆弱なパスワードを制御する機能がある~~ ~~・制御機能の詳細を記載してください~~ ~~■パスワードは利用者自身が登録する仕様となっている~~ ~~■パスワードの再発行を行う際は本人しか知りえない情報等で本人確認をしている~~ ~~■その他のパスワードポリシー~~ ~~・詳細を記載してください~~ ~~□ワンタイムパスワード認証~~ ~~・スマートフォンのアプリ等、利用する媒体を記載してください~~ ~~□ユーザーごとの証明書による認証~~ ~~■ICカード~~ ~~■利用者端末への個別配布~~ ~~□生体認証~~ ~~・詳細を記載してください~~ □その他の認証方法 ・詳細を記載してください ~~□指定回数続けて認証に失敗したアカウントはロックまたは一定期間認証を不可としている~~ ~~・回数を記載してください~~ □セッション~~の有効期限を設けている~~ ~~・有効期限を記載してください~~ ~~□リスクベース認証を用いることができる~~ ~~・具体的な認証方法を記載してください~~ ~~□ネットワーク経路や端末による接続制限ができる~~ ■IPアドレス ~~■複数のユーザーで共有されるクライアント~~証明書 ~~□IdPを利用したシングルサインオン(SSO)を実施している~~ ~~・利用可能なSSOプロトコルを記載してください~~ ○未実施 ~~・詳細を記載してください~~ ○非公開	AC-22	クラウドサービスの開発、保守および運用に携わる要員が利用するインフラやデータベース、IaaSなどのアカウントのアクセスについて、追加で制御していることをすべて選択してください。	□IPアドレスによるアクセス制限 □利用者共通の証明書によるアクセス端末制限 □アプリケーションのセッションタイムアウト □パスワードを利用する場合に最小文字数を設定している ・パスワード長 □その他 ○該当なし ○非公開	TRUE
43	CR_暗号	変更	CR-3	サービスの通信に関する暗号化について実施していることをすべて選択してください。 [設問補足] 安全なアルゴリズムやプロトコルとは、日本のCRYPTRECや米国のFIPSやNISTで推奨されている暗号やハッシュのアルゴリズム、またはプロトコルを指します	□サービスへのアクセス時の通信を暗号化している □安全なプロトコルのバージョンのみを使用して暗号化している □安全な暗号アルゴリズムと十分な鍵長の組み合わせのみを利用している □有効期限が切れていない、信頼できる認証局が発行したサーバ証明書を利用している ○該当なし ○非公開	CR-3	（変更なし）	□サービスへのアクセス時の通信を暗号化している □安全なプロトコルのバージョンのみを使用して暗号化している □安全な暗号アルゴリズムと十分な鍵長の組み合わせのみを利用している □有効期限が切れていない、信頼できる認証局が発行したサーバ―証明書を利用している ○該当なし ○非公開	FALSE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
44	CR_暗号	変更	CR-4	預託データに関する暗号化について、実施していることをすべて選択してください。	□安全な暗号化方式と十分な鍵長により、預託データが格納されたデータベースやファイルを暗号化している ~~□パスワードはソルト付きでハッシュ化し保管している~~ □安全な暗号方式と十分な鍵長により、バックアップデータを暗号化している 〇該当なし 〇非公開	CR-4	（変更なし）	□安全な暗号化方式と十分な鍵長により、預託データが格納されたデータベースやファイルを暗号化している □安全な暗号方式と十分な鍵長により、バックアップデータを暗号化している 〇該当なし 〇非公開	FALSE
45	PH_物理及び環境的セキュリティ	変更	PH-1	~~データセンターの利用形態~~について、該当するものをすべて選択してください。	□自社データセンター □IaaS/PaaS等 ・利用しているIaaS/PaaS名を記載してください □そのほか自社以外のデータセンター ・ハウジング等具体的なデータセンター形態を記載してください 〇非公開	PH-1	クラウドサービスのITインフラストラクチャについて、該当するものをすべて選択してください。	□自社データセンター □AWS, Azure, Google CloudなどのIaaS/PaaS ・利用しているIaaS/PaaS名を記載してください □そのほか自社以外のデータセンター ・ハウジング等具体的なデータセンター形態を記載してください 〇非公開	FALSE
46	PH_物理及び環境的セキュリティ	変更	PH-3	自然災害や事故への対策として、サーバ室やデータセンター等の重要度に応じて実施していることをすべて選択してください。	□電力設備と電力ケーブルを損傷および破壊から保護している □主電源が失われた場合に備え非常用電源や無停電電源装置（UPS）を導入している □免震や耐震等の地震対策を導入している □消火および火災検知のための装置や仕組みを導入している □雷対策を導入している □温度と湿度を保つための装置や仕組みを導入している □防水措置や漏水防止対策を導入している □代替通信サービスを確立している □代替拠点を用意している □上記の対策・設備について定期的に点検している 〇該当なし 〇非公開	PH-3	自然災害や事故への対策として、サーバ一室やデータセンター等の重要度に応じて実施していることをすべて選択してください。	（変更なし）	FALSE
47	OP_運用のセキュリティ	変更	OP-3	サービス利用者への通知について、該当するものをすべて選択してください（実施予定のものを含む）。	□サービスを提供する時間帯もしくはメンテナンス時間を定め、通知もしくは開示している ・詳細を記載してください □緊急もしくは不定期なメンテナンスが必要な場合について、事前に通知している ・通知のタイミングや通知方法を記載してください □サービスの大きな変更や終了について、事前に通知している ・通知のタイミングや通知方法を記載してください □サービス提供に関わる障害やパフォーマンス低下等が発生した場合について、速報や追加報告（復旧予測時刻等）を実施している ・通知までの目標時間や通知方法を記載してください □セキュリティインシデントが発生した場合は速やかに通知している ・通知までの目標時間や通知方法を記載してください □アクセス権限設定の仕様を変更する場合は事前に通知している ・~~通知までの目標時間~~や通知方法を記載してください 〇未実施 〇非公開	OP-3	（変更なし）	□サービスを提供する時間帯もしくはメンテナンス時間を定め、通知もしくは開示している ・詳細を記載してください □緊急もしくは不定期なメンテナンスが必要な場合について、事前に通知している ・通知のタイミングおよび通知方法を記載してください □サービスの大きな変更や終了について、事前に通知している ・通知のタイミングおよび通知方法を記載してください □サービス提供に関わる障害やパフォーマンス低下等が発生した場合について、速報や追加報告（復旧予測時刻等）を実施している ・通知までの目標時間および通知方法を記載してください □セキュリティインシデントが発生した場合は速やかに通知している ・通知までの目標時間および通知方法を記載してください □アクセス権限設定の仕様を変更する場合は事前に通知している ・通知のタイミングおよび通知方法を記載してください 〇未実施 〇非公開	FALSE
48	OP_運用のセキュリティ	変更	OP-8	取得しているログをすべて選択し、保管期間を記載してください。	□例外処理や誤操作によるエラー、システム障害、セキュリティインシデントに関するイベントログ ・保管期間を記載してください □サービス利用者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください □システム管理者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください 〇ログは取得していない 〇非公開	OP-8	（変更なし）	□例外処理や誤操作によるエラー、システム障害、セキュリティインシデントに関するイベントログ ■アプリケーションのログ ・保管期間を記載してください ■インフラ（ネットワークやIaaS環境など）のログ ・保管期間を記載してください ■その他 ・ログの詳細および保管期間を記載してください □サービス利用者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください □システム管理者の認証ログやアクセスログ、操作ログ ・保管期間を記載してください 〇ログは取得していない 〇非公開	TRUE
49	OP_運用のセキュリティ	変更	OP-16	クラウドサービスを構成する本番サーバに対して行なっている~~ウィルス~~対策を選択してください。	□ウィルス対策ソフトを導入し、リアルタイムスキャン、定期的なウィルススキャンやパターンファイルの最新化を行なっている □その他の対策を行なっている（EDR利用、その他の総合対策を含む） ・詳細を記載してください 〇未実施 〇非公開	OP-16	クラウドサービスを構成する本番サーバ一に対して行なっているマルウェア対策を選択してください。	□マルウェア対策ソフトを導入し、リアルタイムスキャン、定期的なウィルススキャンやパターンファイルの最新化を行なっている □その他の対策を行なっている（EDR利用、その他の総合対策を含む） ・詳細を記載してください 〇未実施 〇非公開	FALSE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
50	MN_監視	変更	MN-1	セキュリティインシデントやシステム障害を検知するために実施していることをすべて選択してください。	□クラウドサービスおよびネットワークに対するパフォーマンス監視 □クラウドサービスの死活や障害監視、外形監視（運用監視） □社内ルール違反等の挙動監視 □内部および外部からの不正アクセスや不正利用の監視 □サイバー攻撃の兆候監視 □不正なパケットに関する監視 □サーバへのリモートアクセスやサービスの環境、IaaS・PaaSの管理画面等へのアクセスの監視 〇該当なし 〇非公開	MN-1	（変更なし）	□クラウドサービスおよびネットワークに対するパフォーマンス監視 □クラウドサービスの死活や障害監視、外形監視（運用監視） □社内ルール違反等の挙動監視 □内部および外部からの不正アクセスや不正利用の監視 □サイバー攻撃の兆候監視 □不正なパケットに関する監視 □サーバへのリモートアクセスやサービスの環境、IaaS・PaaSの管理画面等へのアクセスの監視 〇該当なし 〇非公開	FALSE
51	NW_ネットワークのセキュリティ	変更	NW-1	サーバへのリモートアクセスやサービスの環境、IaaS・PaaSの管理画面等へのアクセスを制限していますか。実施していることをすべて選択してください。	□アクセスの都度、承認を必要としている □特定の部署や人からのアクセスに制限している 〇未実施 〇非公開	NW-1	サーバへのリモートアクセスやサービスの環境、IaaS・PaaSの管理画面等へのアクセスを制限していますか。実施していることをすべて選択してください。	（変更なし）	FALSE
52	NW_ネットワークのセキュリティ	新規	—	—	—	NW-2	クラウドサービスのネットワークセキュリティ対策について、採用しているツールやサービスを選択してください。	□ファイアウォールまたは類似の通信制御 ・見直しまたは最新化の実施有無 ●ルールの定期見直しまたは自動的な最新化を実施している ●見直しや最新化は実施していない □IPSもしくはIDS、または類似の機能 □WAF 〇未実施 〇非公開	TRUE
53	NW_ネットワークのセキュリティ	削除	NW-2	~~外部および内部からの不正アクセスを防止するためにファイアウォールを設置していますか（WAFは除く）。~~ ~~[設問補足]~~ ~~ファイアウォールと同等の機能を利用している場合は、設置しているものとして回答してください~~	~~〇設置していて、定期的に設定を見直している~~ ~~〇設置しているものの、定期的に設定を見直していない~~ ~~〇設置していない~~ ~~〇非公開~~	—	—	—	FALSE
54	NW_ネットワークのセキュリティ	削除	NW-3	~~不正なパケットを自動的に発見または遮断するためにIPSやIDSを導入していますか。~~	~~〇導入していて、定期的に設定を見直している~~ ~~〇導入しているものの、定期的に設定を見直していない~~ ~~〇導入していない~~ ~~〇非公開~~	—	—	—	FALSE
55	NW_ネットワークのセキュリティ	削除	NW-4	~~Webアプリケーションの脆弱性を悪用した攻撃等を防止するため、WAFを導入していますか。~~	~~〇導入していて、定期的に設定を見直している~~ ~~〇導入しているものの、定期的に設定を見直していない~~ ~~〇導入していない~~ ~~〇非公開~~	—	—	—	FALSE
56	NW_ネットワークのセキュリティ	変更	NW-5	DDoS等のサービスの維持運用を妨害する攻撃への対策をしていますか。	〇はい 〇いいえ 〇非公開	NW-3	（変更なし）	（変更なし）	FALSE
57	NW_ネットワークのセキュリティ	変更	NW-6	各サーバの用途に応じた論理的分離により境界を保護していますか。実施していることをすべて選択してください。	□DBサーバがWebサーバと分離された構成になっており、WebサーバとDBサーバ間の通信経路が必要最低限になるようアクセスを制御している □DBサーバは外部から直接アクセスできないようにアクセスを制御している □不要なポートを閉じている 〇該当なし 〇非公開	NW-4	各サーバの用途に応じた論理的分離により境界を保護していますか。実施していることをすべて選択してください。	□DBサーバがWebサーバと分離された構成になっており、WebサーバとDBサーバ間の通信経路が必要最低限になるようアクセスを制御している □DBサーバは外部から直接アクセスできないようにアクセスを制御している □不要なポートを閉じている 〇該当なし 〇非公開	FALSE
58	CP_法令遵守	変更	CP-1	~~サービス提供者および~~クラウドサービスが~~満たす~~べき関連法令や規制、契約上の要求事項を整理し、これらを満たすための取り組みを継続的に実施していますか。	〇はい 〇いいえ 〇非公開	CP-1	クラウドサービスの提供にあたって遵守すべき関連法令や規制、契約上の要求事項を整理し、これらを満たすための取り組みを継続的に実施していますか。	（変更なし）	FALSE
59	AT_アカウント	変更	AT-1	サービス利用者側のアカウントについて、~~一般的な利用者権限と、管理者権限等の特権を分離していますか。~~	~~〇はい~~ ~~〇いいえ~~ ~~〇非公開~~	AT-1	クラウドサービス利用者のアカウントについて、利用企業側で追加や削除、権限変更などが可能ですか。また、それらが可能なロールなどを限定していますか。	〇クラウドサービス利用者がアカウントの追加、削除、権限変更などを実施可能 ・当てはまるものを選択してください ●特定のロール（権限）を持つアカウントのみが当該処理を実施可能 ●処理の実施にあたり特定のロール（権限）は不要（通常のアカウントで実施可能） 〇クラウドサービス事業者が管理する 〇その他 ・詳細をご記載ください 〇非公開	TRUE
60	AT_アカウント	変更	AT-2	~~サービス利用において利用者権限とユーザーアカウント管理権限等の特権アカウントでどのような管理機能を分離していますか。~~	□アカウントの追加、削除、利用停止（ロック）等 □アカウントの一覧出力・表示 □アカウントやグループ単位でのデータアクセスや実行可能機能の制御 □ログのダウンロード □その他 ・詳細を記載してください 〇該当なし 〇非公開	AT-2	クラウドサービス利用者が用いる管理者アカウントには、どのような管理機能が設定されていますか、または設定可能ですか。	□アカウントの追加、削除、利用停止（ロック）等 □アカウントの一覧表示またはファイル出力 □アカウントやグループ単位でのデータアクセスや実行可能機能の制御 □ログイン情報や操作ログのダウンロード □その他 ・詳細をご記載ください 〇該当なし 〇非公開	FALSE

No.	カテゴリ	新規/変更	旧項番	旧設問	旧選択肢	新項番	新設問	新選択肢	再回答必須
61	AT_アカウント	変更	AT-3	サービス利用者のログイン情報に~~ついて、利用者側の管理者権限を有するユーザーが利用する管理画面や、監査ログのダウンロード機能などにより提供可能な情報や制約を選択してください。~~	~~□ ログイン関連~~ ■ログインID ■ログイン日時 ■ログアウト日時 ■ログイン認証の成否 ~~□ アクセス元~~ ~~—■IPアドレス~~ ~~—■ホスト名~~ □~~ログの提供期間を規定~~ ・期間 [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：ログイン日時から1年間保管など） □ その他 ・詳細を記載してください ○ 該当なし ○ 非公開	AT-3	クラウドサービス利用者のアクセスやログイン記録について、利用者が確認可能な項目や、記録の制約などをすべて選択してください。	□ダウンロード機能などにより、利用者がアクセスログを確認可能（ログに含まれる項目を選択してください） ■ログインID ■ログイン日時 ■ログアウト日時 ■ログイン元情報（IPアドレス、端末情報など） ■ログイン認証の成否 □ログや記録を閲覧可能な期間が限定されている ・期間をご記載ください [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：ログイン日時から1年間保管など） □提供機能はないが、利用者の要請に応じて提供・受渡が可能 □その他 ○該当なし ○非公開	TRUE
62	AT_アカウント	変更	AT-4	サービス利用者の操作について、~~利用者側の管理者権限を有するユーザーが利用する管理画面や、監査ログのダウンロード機能などにより提供可能な情報や制約を選択してください。~~	~~□ ログイン関連~~ ■ログインID ■ログイン日時 ■ログアウト日時 ■ログイン認証の成否 ~~□ アクセス元~~ ~~—■IPアドレス~~ ~~—■ホスト名~~ □~~ログの提供期間を規定~~ ・期間 [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：ログイン日時から1年間保管など） □ その他 ・詳細を記載してください ○ 該当なし ○ 非公開	AT-4	クラウドサービス利用者の操作記録について、利用者が確認可能な項目や、記録の制約などをすべて選択してください。	□ダウンロード機能などにより、利用者が操作ログを確認可能（ログに含まれる項目を選択してください） ■データの作成・更新・削除記録 ■データの閲覧・検索記録 ■データのアップロード履歴 ■データのダウンロード履歴 ■アカウントの作成・更新・削除記録 □ログや記録を閲覧可能な期間が限定されている ・期間をご記載ください [補足]：利用者がログにアクセスできる期間を記載してください（例：アクションの実行日から1年間保管など） □機能はないが、利用者の要請に応じて提供・受渡が可能 □その他 ○ 該当なし ○ 非公開	TRUE
63	EF_電子メール	変更	EF-1	~~サービス利用者が電子~~メールを送信する機能はありますか。	○はい ○いいえ ○非公開	EF-1	クラウドサービス利用者が電子メールを送信する機能はありますか。	（変更なし）	FALSE
64	EF_電子メール	変更	EF-2	~~サービス利用者が電子~~メールを送信する機能について、その機能の使用可否はサービス利用者の管理者権限で設定できますか。	○はい ○いいえ ○非公開	EF-2	クラウドサービス利用者が電子メールを送信する機能について、その機能の使用可否は利用者が設定できますか。	（変更なし）	FALSE
65	EF_電子メール	変更	EF-3	~~サービス利用者が電子~~メールを送信する機能について、どのように送信ドメインの詐称（なりすまし）~~を防いでいますか。~~	□メールの送信ドメインや送信元アドレスが~~固定されている~~ □SPFレコードの設定が可能 □DKIMの利用が可能 □DMARCの利用が可能 □その他 ・詳細を記載してください ○実施事項なし ○非公開	EF-3	クラウドサービスから送信される電子メールについて、送信ドメインの詐称（なりすまし）対策を選択してください。 [設問補足] クラウドサービスから送信されるメールには、ユーザー操作による送信メールだけでなく、サービス運営上送信されるメール（例：障害発生時の通知メールなど）を含みます。	□メールの送信ドメインや送信元アドレスが定型化され変更できない □SPFレコードが設定済みまたは利用可能 □DKIMが設定済みまたは利用可能 □DMARCが設定済みまたは利用可能 □その他 ○未実施 ○非公開	TRUE
66	RT_機能制限	変更	RT-1	他サービスとの連携~~する~~機能がある場合、その機能の使用可否はサービス利用者の管理者権限で設定できますか。	○はい ○いいえ ○該当する機能はない ○非公開	RT-1	他サービスとの連携機能がある場合、その機能の使用可否はサービス利用者の管理者権限で設定できますか。	（変更なし）	FALSE
67	AI_AI	変更	AI-2	AIに関するガバナンス・管理として実施していることを選択してください。	□AIサービスの利用者~~等~~にむけた~~サービス~~規約を作成、明示している □学習データの収集・利用について、法令遵守のためのルールを定めている ■該当するものをすべて選択してください ■個人情報に関するルール ■知的財産権に関するルール ■その他 ・詳細を記載してください □預託データを学習利用する ■事前の同意を求めている ■~~隔離した環境を利用している~~ ■その他 ・詳細を記載してください □その他 ○該当なし ○非公開	AI-2	（変更なし）	□AIサービスの利用者にむけた利用規約などを作成、明示している □学習データの収集・利用について、法令遵守のためのルールを定めている ■該当するものをすべて選択してください ■個人情報に関するルール ■知的財産権に関するルール ■その他 ・詳細を記載してください □預託データを学習（モデルのトレーニング、ファインチューニングを含む）に利用する ■事前の同意を求めている ■データを学習利用させない設定が可能である ■隔離した環境を利用している（インプットしたデータが利用者以外に対して出力されない） ■その他 ・詳細を記載してください □その他 ○該当なし ○非公開	TRUE